

日本学術会議 化学委員会

物理化学・生物物理化学分科会（第24期・第4回）議事録

日時：2019年5月30日（木）、13時30分～14時55分

場所：分子科学研究所（明大寺キャンパス） 研究棟 302号室

出席者7名：相田美砂子（skype）、安藤香織、岡本裕巳、川合眞紀、中嶋敦、西川恵子、山本達之

欠席者10名：阿波賀邦夫、岩澤康裕、黒田玲子、栗原和枝、寺嶋正秀、所裕子、福村裕史、三澤弘明、村越敬、山内薫

・定足数は7名である。

分科会の構成委員17名のうち除外可能数は構成員の1/4の4名

（今回海外出張者が5名であるが除外可能数は、除外可能数の4名）

⇒したがって、定足数は、17名－4名＝13名の過半数として、7名である。

議事に先立ち、相田委員長のskype接続を確認し、定足数を満たして分科会が成立していることを確認した

#### 【承認事項】

1. 2018年12月27日に開催された第24期・第3回物理化学・生物物理化学分科会の議事録について報告がなされ、承認された。

#### 【報告・協議事項】

1. 化学・情報科学の融合による新化学創成に関する物理化学分野からの意見をとりまとめて、提言「化学・情報科学の融合による新化学創成に向けて」（案）とする進め方を議論した。
2. 物理化学分野における研究評価について、緊急アンケート結果を踏まえて、日本学術会議公開シンポジウム「研究評価の客観化と多様化をめざして」の資料をもとに、研究評価の位置づけと課題を議論した。
3. 地方にある大学における教育研究環境の現状把握と問題提起について、最近出された内閣府、文科省、財務省の方針に関する資料内容の報告を踏まえて、意見交換を行った。

以上